

令和4年度 予算の概要

「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」の実現に向けて

宇佐市はこれまで「定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち」を目指し、全力を尽くしてきました。しかしながら、本市を取り巻く環境は新型コロナウイルス感染症の対応に加え、本格的な人口減少社会、大規模自然災害などへの対応など課題山積の状況にあります。大事なことは、限られた財源を重点的かつ効率的に配分しながら、中長期的な視点のもと各種施策を積極的に展開し、市民の負託に応えていくことであります。引き続き市民の命と生活を守るとともに、ウィズコロナ、アフターコロナ社会を見据えた「デジタル化の推進」や「グリーン社会の実現」、また「子育て支援」や「活力ある地方創生」など全力で市民の夢と希望に満ちた宇佐市を創ってまいります。



■ 予算について

令和4年度の予算編成にあたりましては「改革とアフターコロナへの挑戦予算」と位置づけ、移住・定住促進などの「地方創生対策」、公共インフラ施設の長寿命化などの「安心確保対策」、南一郎平NHK朝ドラ誘致支援などの「地域の特色を活かしたまちづくり」に重点を置き編成しました。さらに、アフター

コロナ枠としてデジタル化による行政サービスの向上や、脱炭素社会の構築など新たな政策課題に対応する予算についても積極的に盛り込んだところ です。

一方で、老朽化した公共施設の維持管理経費、社会保障関連経費などの増加が見込まれることから、持続可能な財政運営を堅持するため、自主財源として、ふるさと納税のより一層の確保に努めると

もに、重点的に実施すべき施策を選択しながら、健全財政の枠組み維持に配慮した予算としました。

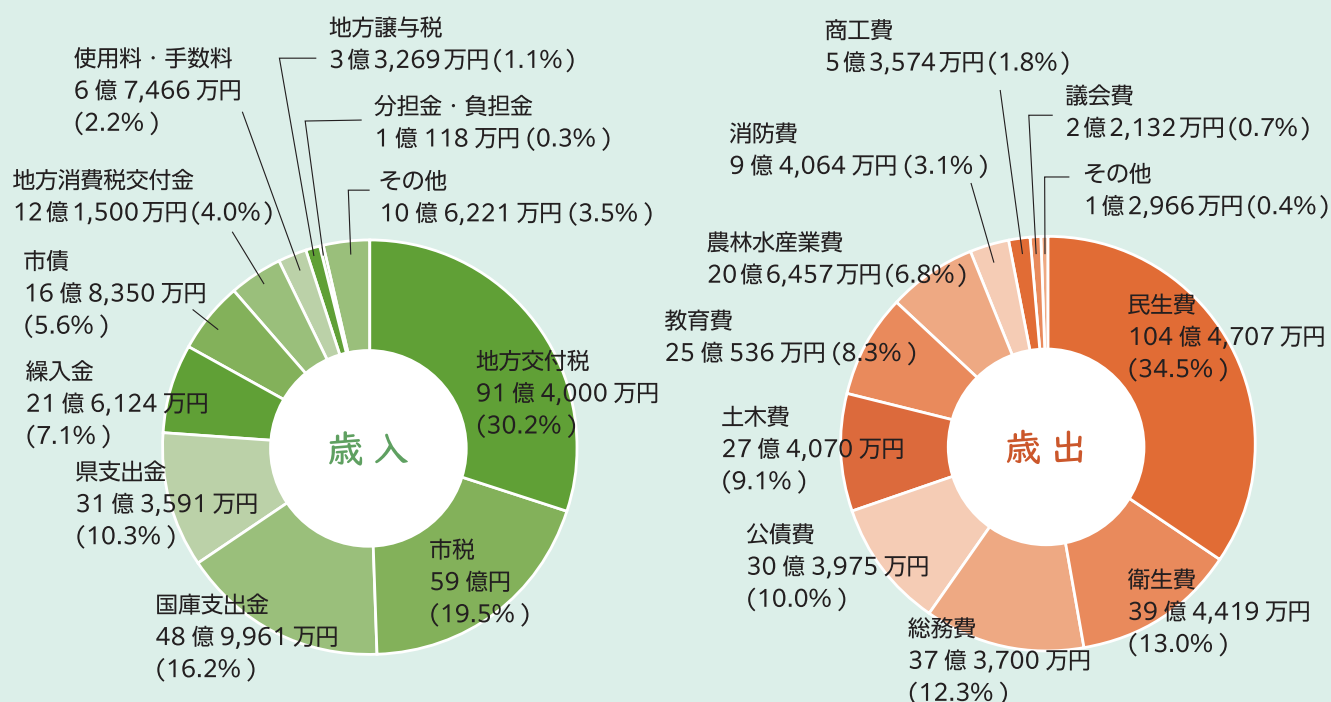
これらを踏まえた令和4年度の一般会計予算の規模は303億600万円となっており、肉付け予算として編成した前年度6月補正後予算と比較して4億660万円、1.3%の減額となっていますが、国の令和3年度補正予算を活用して前倒

した事業と合わせますと308億3,417万円、0.4%の増額となっています。歳入については、国庫支出金および県支出金をはじめ、過疎債など交付税措置の有利な地方債を優先的に活用するとともに、財政調整基金からの繰入金などにより、財源調整を図っています。

予算規模

一般会計 令和4年度予算額 303 億 600 万円

前年度比 1.3% 減
※前年度6月補正後の肉付け予算



特別会計 令和4年度予算額 149 億 3,100 万円

会計区分	(前年度比)	
国民健康保険	70 億 1,430 万円	1.8%
介護保険	70 億 0,000 万円	2.2%
後期高齢者医療	9 億 1,670 万円	15.9%



令和4年度 主な事業

「第二次宇佐市総合計画後期基本計画」および「第2期宇佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の3年目にあたり「改革とアフターコロナへの挑戦予算」として編成した主な施策をご紹介します。

全力で市民の命と生活を守る

道路メンテナンス事業 1億607万円

道路ストックの点検結果を踏まえ策定される長寿命化修繕計画に基づき、橋梁・トンネルの老朽化対策を実施する。

公営住宅整備・ストック改善事業 1億9,319万円

公営住宅などについて、居住者の安全確保や生活環境の向上、住宅の長寿命化などを図るため、長寿命化計画に基づき、住環境の策定などを行う。

- ・中小企業資金融資利子補助事業 3,976万円
- ・老朽危険家屋等除却促進事業 1,020万円

- ・消防力強化事業 6,098万円
- ・急傾斜地崩壊対策事業 3,370万円

全力で市民の夢と希望を創る

地域商社スタートアップ事業 1,562万円

地域おこし協力隊制度を活用し、地域産品の販売活動やマーケティングの司令塔となる地域商社を立ち上げる。

すくすく子育て祝金事業 8,512万円

子育て世帯の経済的負担軽減を図るため、出産および入学などを祝福する祝金を支給する。令和4年度より小学校入学祝金を3万円から5万円に増額する。

※出産祝金は第1・2子5万円、第3子以降7万円。入学祝金は小～高校入学5万円。

- ・子ども医療費助成事業 1億7,061万円
- ・企業誘致支援費 6,000万円

- ・社会資本整備総合交付金事業 2億4,104万円
- ・JR柳ヶ浦駅周辺整備事業 2億3,639万円

アフターコロナへの挑戦

DX推進事業 5,731万円

市民への行政サービスの利便性向上と職員の働き方改革を推進するため、デジタル化の推進を図る。システムの標準化・共通化や行政手続きのオンライン化、RPA（ソフトウェアによる業務プロセスの自動化）導入など。

教育システム最適化事業 1億490万円

小中学校における情報通信環境を充実させるとともに、児童生徒1人1台端末を授業および家庭学習において効果的に活用することで、学習意欲の向上と学力の定着を図る。

- ・改正省エネ法に基づくエネルギー管理事業
- ・地域医療介護ネットワーク基盤整備事業

1,181万円
154万円



健康診査 6,805 万円

特定健診、がん検診などを実施し、生活習慣病を予防する保健指導やがんの早期発見などにより医療費低減に向けて取り組む。令和4年度に限り、胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん検診の無料化による受診率向上を図る。



新型コロナウイルスワクチン接種及び体制確保事業（3回目） 9,243 万円

新型コロナウイルス感染症の蔓延^{まんえん}防止を図るため、ワクチンの3回目接種を行う。

- ・新型コロナウイルス感染症対策事業（子ども・子育て支援事業所） 2,320 万円
- ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業 766 万円



総合戦略推進事業 718 万円

宇佐市版まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図る。
企業版ふるさと納税の推進や南一郎平NHK朝ドラ化誘致活動の支援など。



東アジア文化都市 2022 関連事業 1,094 万円

東アジア文化都市 2022 大分連携事業として、市文化協会と韓国美術協会慶州支部との日韓国際美術交流展を開催する。また、併せて友好親善都市締結 30 周年を記念して式典を開催する。

- ・国道沿線地域複合施設整備事業 1 億 710 万円
- ・「うさ暮らし」移住満足度 100%事業 7,558 万円



デジタルデバйд対策事業 100 万円

誰ひとりとして取り残さない、人にやさしいデジタル化に向け、デジタルデバйд（情報格差）対策として、高齢者などを対象にスマホ教室を開催する。



地球温暖化対策事業 1,191 万円

持続可能なエネルギーの利用推進、温室ガス排出量の削減などを行うため、地球温暖化対策事業を展開する。低炭素設備導入補助金にEV車購入も対象とするなど拡充を図る。

- ・森林環境譲与税関連事業 5,877 万円
- ・宇佐市地域ICT化推進事業 322 万円